

鈴鹿警察署協議会議事録

令和4年度第4回鈴鹿警察署協議会	
日 時 場 所	令和5年2月17日（金）午後1時30分～午後2時40分 鈴鹿警察署3階会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会 1名 長江正委員長</p> <p>2 警察署協議会 10名 麻生洋一郎委員、大井沙矢加委員、岡田篤典委員、 岡野勝仁委員、岡本隆委員、倉田澄子委員、清水啓子委員、 永井美好委員、宮田陽一委員、森雅人委員</p> <p>3 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、留置管理課長、 警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、 刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 公安委員会委員長挨拶</p> <p>2 警察署長挨拶</p> <p>3 特殊詐欺の現状と対策（生活安全課長）</p> <p>(1) 特殊詐欺の発生状況及び特徴について</p> <p>(2) 特殊詐欺被害防止対策について</p> <p>(3) 「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」プロジェクトチーム（略称：SOS47）による広報資料の活用について</p> <p>4 ハラスメント防止対策について（警務課長） 兄友制度やピアサポート、意見箱の設置など、ハラスメントを防止するための取組を説明した。</p> <p>5 協議事項 アンケートの実施について ＜委員＞ 会議中の質疑応答の時間だけでは十分でないので、アンケート用紙などを事前に配付して意見を取り入れることを検討してほしい。 【警務課長】御意見は参考にさせていただきます。</p> <p>6 退任する警察署協議会委員による挨拶 本年度をもって退任する委員から、「警察がどんな仕事をしているか分かり、身近に感じる事ができた。」「震災時の警察の対応など、有事に備えていることを初めて知ることができ、安心できた。」などの意見があった。</p> <p>7 公安委員会委員長講評 特殊詐欺は依然として多く発生しており、また、手口は巧妙で人の心の隙を突いてくる。 犯人がどんな方法で人を騙そうとするのか知ってもらうことが被害防止につながるの、引き続きの広報をお願いしたい。</p>	
備 考	